

会 議 報 告 書

1 会議名	令和4年度第2回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	令和4年11月1日（火） 午後3時30分から4時40分まで	3 場 所	北上市保健・子育て支援複合施設 h o K k o 1 階けんしんホール
4 出席者	【委 員】 12名（別紙名簿のとおり） 【事務局】 4名（健康こども部長、子育て支援課長、課長補佐、保育係長） 【傍聴者】 1名		
【内 容】			
1 開 会			
2 挨拶（健康こども部長、会長）			
会長 出生数が昨年は81万人から今年度77万人に急激な落ち込み。 日本社会全体が子育てしづらい社会。結婚に消極的。 長期的なもの見方で計画的に定員削減なり、施設に対してどう支援するかを 考える時期に来ている。			
3 議 事（会長進行）			
4 その他			
○ 委員15名中12名の出席、過半数の出席があり本会議が成立すること報告。			
○ 議事			
(1) 北上市認可保育施設の利用定員について【資料1】			
【説明の要旨】			
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の保育所の利用定員2,543人、10月1日時点での利用児童数 2,443人 充足率96% ・本日協議する利用定員の変更 資料1 定員変更（今回協議部分） 			
【令和5年度】			
<ul style="list-style-type: none"> ・公立 大通り保育園 15人定員削減 鳩岡崎保育園11人削減 ・ふたば認定こども園横川目こども園 教育・保育あわせ34人減 ・専修大学北上幼稚園 保育利用 8人減 ・そらいろ保育園（小規模） 6人減 			
【令和6年度】			
<ul style="list-style-type: none"> ・北上保育園 園舎を新築して新たに2号受入 18人定員増 			
【質疑】			
<ul style="list-style-type: none"> ・R4年4月490名の空きとあるが、保育所の経営はどうか、営業し続けることは可能か。維持し続けるなら支援が必要か。経営状況が問題ないならよいが。 5年10年の長いビジョンを持ちながら検討していただければと思う。 ⇒定員と児童数について、様々なニーズに応えるには一定程度の余裕は必要。 民間に影響が出ないよう公立を調整することを考えている。第1弾として次年度定員減らす。企業進出で増える要素がないとも言えないが社会情勢をみながら臨機応変に対応。今の段階では補助金は考えてはいないが一定程度公立園の調整のなかで対応。 			

(2) 公立保育園の利用定員削減案と今後の見通しについて 【資料2】

【説明の要旨】

- ・ 4・5歳について募集は行わず、2歳の募集を特に少ない形で削減を考えた。
- ・ 大通り保育園は現在138人を令和5年度123人に削減。鳩岡崎保育園は68人（実績）を59人に削減しようとするもの。
- ・ 大通り保育園は近隣に施設ある。ほかにも民間施設が多くなるエリア。
- ・ 鳩岡崎保育園は近隣に江釣子保育園、飯豊地域にも足をのばせば代替施設がある。これらを考えて2園を選択。
- ・ 保育の供給量について、資料のとおり令和6年に特に民間立の園の増加が見込まれている。公立の定員削減を行い、今後調整を考えている。
- ・ 独自の人口推計について説明。ベースの要因はR3~4がコロナ禍の出生減。R4~6がコロナ禍終了による出生数立て直しと立地企業による転入増。0~5歳児の合計人口が減っていく状況。
- ・ 供給量・需要量について、R6は231人供給が多い。R5は供給が123人多いが4/1時点なので途中入所もあり、100程度余裕があったほうがバランスが取れる。大通り保育園、鳩岡崎保育園の定員削減は待機児童に影響を与えないと推測。長期的な方向性については社会情勢を踏まえて精査が必要。第3期計画で示す。

【質疑】

- ・ 岩手保健医療大附属はどういう見通しで北上を選んだか。
⇒なぜ北上市を選んだかは伺っていないが、事業所数の増などをみていると推測する。
- ・ 人数を増やすだけでなく、駅前にできることで別な意味で利用価値がある。
- ・ 資料の5は北上市全体の話かと思うが、市街地が多く、遠くは少なく、細かいところを検討しているか。
⇒エリアで考えている。大通り保育園は駅前に施設ができるので、近隣に代替がある鳩岡崎保育園も近隣に代替があるが公立の南保育園や二子保育園は近隣に代替がないので減らすのは難しい。

○その他

【情報交換】

- ・ 地域差あると感じる。
更木幼稚園があるが、地域とのコミュニケーションを図りながら、園庭整備も地域で。地域も支援しながらやっている。
- ・ 3歳の子がいる。ワクチンが受けられるようになるとのことで受けさせたい。波が大きくならなければいい。
- ・ 公立園の削減は近隣みれば致し方ない。公立の担ってきた役割があると思う。違った形で、保育の質や子育て支援などニーズに応じていければいいと期待している。
保育士養成校ですが、入試の真っ最中。高校生が多数来ていただき、定員確保した。北上市にも地域貢献という形で、学生たちが何等かの形でかかわりたい。北上市に残っていければと思っている。
- ・ コロナの影響もあり、子どもの数の読みが難しい。北上市は企業が来たり、活発な動き。
大きな目で見ると、(矢巾町に)岩手医大が来て近隣で待機児童が出ている。今回の計画で病院と介護がセットで若い人の需要が増え子どもたちが増えるといい。
- ・ 小・中学校はコロナと付き合いながら行事を行っている。
小・中学校の会議でも、ワクチンについて話題になっている。情報がありすぎて接種したほうがいいのか。不安な人もいる。
- ・ 子どもの数が減り、法人としても定員割れを見越した努力をしていかなくてはと感じる。

職員の生活基盤がなくならないように。配置基準が保育士にやさしくなることで、働く保育士が保障される、そういった部分を検討いただければと思った。

- ・労働者目線でキオクシアが来て働き手が集中しそれ以外の企業の人手不足。高卒が条件のいい企業に行く。企業の存続問題。大手だけでなく中小企業のことでも考えてほしい。仕事でいっぱいになって子どもの面倒をみられないとか子どもを作れないという方もいる。
- ・キオクシアが出てきたあと、デンソー、ベストが新工場。採用者数と対象年齢を考えると子どもが増えるのはまだまだ先の話。転勤や中途採用は即児童数アップにはつながらないと思う。
- ・大きな会社が来ることによって、思った以上に子どもが転校してきていない。自分の子どもを育てたころよりは保育園や幼稚園の環境が良くなって待機児童もなくなっていると思うが、出生率が減り、住みやすいまち、ここに住みたいと思うまちにしていけないとここで育つ子が増えない。市全体の問題かなと思う。北上っておもしろいまちって思うような発信ができたらいいと思う。
- ・5年前待機児童は多く、今は児童数が少ない。地域で定員数が妥当なのか、不便な地域は定員少ないのか。

(部長から)

子どものワクチンは強制ではないことを理解のうえ接種をいただきたい。

少子化対策は市がどこまでやれるのか総合的な政策のなかでどうしていくか。市としてもこれからの課題、庁内で共有していく。

(会長)

少子化について、全国の出生数は今年度 77 万人になる。当初の予想より 8 年早い。その対策もスピード感を持ってやってほしい。